

12 参加費（資料代を含む）2,000円

13 大会申し込みについて

(1) 長崎県外からの参加者（参加は、大会要録・動画視聴となります。）

○参加者個人様

各県事務局に直接申し込みください。九州外からの参加については、長崎県事務局に問い合わせください

提出物 1: 参加申込書

2: 参加諸経費（振込先は申込用紙記載の各県事務局指定口座になります。手数料は個人負担）

申込期間 令和3年9月1日(水)～9月30日(木)

※所属各学校へ12月より大会要録・動画視聴に関する情報を発送します。動画公開は令和4年1月予定です。

○各県事務局長様

別紙事務局集計用紙(A)及び集計用紙(B)に必要事項を入力の上、長崎県事務局長までメールにて送付してください。参加諸経費を各県で取りまとめの上、指定の口座へお振込みください。手数料は各県事務局で負担をお願いします。

申込期間 令和3年10月1日(金)～10月8日(金)

(2) 長崎県内からの参加者

(県北地区は直接参加可、他地区の方は県外の場合と同様大会要録・動画視聴となります。)

○参加者個人様

各支部幹事に直接申し込みください

提出物 1: 参加申込書（長崎県中学校技術・家庭科教育研究会ホームページよりダウンロード可能）

2: 参加諸経費（各支部で取りまとめください）

申込期間 令和3年9月1日(水)～9月30日(木)

※所属各学校へ12月より大会要録・動画視聴に関する情報を発送します。動画公開は令和4年1月予定です。

県北地区の直接参加者については、会場にてお渡しいたします。

○各支部幹事様

別紙支部幹事集計用紙(A)及び集計用紙(B)に必要事項を入力の上、長崎県事務局長までメールにて送付してください。参加諸経費を各支部で取りまとめの上、指定の口座へお振込みください。手数料は各支部で負担をお願いします。また、振り込みは各支部名でお願いいたします

申込期間 令和3年10月1日(金)～10月8日(金)

参加申込・問い合わせ先

長崎県中学校技術・家庭科教育研究会 事務局長 本村孝之

事務局 佐世保市立光海中学校内

所在地 〒857-0062 長崎県佐世保市金比良町1番15号

TEL:0956(22)2468 FAX:0956(22)2469

E-mail takayuki.motomura@city.sasebo.ed.jp koukaijh@city.sasebo.ed.jp

URL http://ajgika.ne.jp/~nagasaki/

14 大会事務局

役職・氏名	所属	所在地	TEL・FAX・E-Mail
九州大会運営委員長 長崎県中学校技術・家庭科 教育研究会会長 柳原 秀一	佐世保市立 三川内中学校	〒859-3152 長崎県佐世保市 新行江町957番地	TEL:0956(30)8001 FAX:0956(30)8001 E-Mail: mikawatijh@city.sasebo.ed.jp
九州大会実行委員長 佐世保市中学校教育研究会 技術部会部長 江頭 敏	佐世保市立 愛宕中学校	〒857-0064 長崎県佐世保市 赤崎町483番地2	TEL:0956(28)0116 FAX:0956(28)0218 E-Mail: atagojh@city.sasebo.ed.jp

各都道府県区市町村教育委員会教育長 様
各国立大学法人・公立・私立中学校長 様
各中学校技術・家庭科担当者 様
関係係各 位

全九州中学校技術・家庭科教育研究協議会
会 長 池江 浩一郎
第65回九州地区中学校技術・家庭科教育研究大会
大会運営委員長 柳原 秀一
大会実行委員長 江頭 敏

第65回九州地区中学校技術・家庭科教育研究大会
第34回長崎県中学校技術・家庭科教育研究大会
長崎大会（県北大会）の御案内（最終案内）

このたび、第65回九州地区中学校技術・家庭科教育研究大会を長崎県で開催することになりました。新学習指導要領の完全実施となる年に、本県で標記大会を開催できることは、大変光栄であるとともに身の引き締まる思いを痛切に実感しているところです。

さて、本県では、『よりよい社会の実現に向け、生活を工夫し創造する資質・能力を育む技術・家庭科教育』を研究主題に学習活動を展開し、本教科の一層の充実を目指して研究を進めているところです。

つきましては、この機会に多くの皆様方に御参加いただき、御意見、御指導を賜りたいと存じます。諸先生方の多数の御参加を心よりお待ち申し上げます。

大会開催要項

1 主催 全日本中学校技術・家庭科研究会 全九州中学校技術・家庭科教育研究協議会
長崎県中学校技術・家庭科教育研究会

2 後援 長崎県教育委員会
佐世保市教育委員会 平戸市教育委員会 松浦市教育委員会 佐々町教育委員会
長崎県教育会 長崎県校長会
公益社団法人全国中学校産業教育教材振興協会
長崎県産業教育振興会 公益財団法人日本教育公務員弘済会長崎支部

3 日程・会場

(1) 長崎県北地区の先生方

【分科会・全体会】令和3年11月25日(木)会場：佐世保市総合教育センター

[録画による研究授業提供中学校]

佐世保市立福石中学校・佐世保市立清水中学校

佐世保市立早岐中学校・佐世保市立日野中学校

9:45	10:05	10:55	11:45	12:15	13:30	14:00	14:10	15:15	15:45
受付連絡 開会行事	研究授業 視聴	授業 研究	県教委・県センター 指導助言	昼食	基調提案	休憩	文部科学省 全体指導講評	閉会行事 連絡	

(2) 長崎県北地区以外及び県外の先生方

研究要録による発表及び令和4年1月録画配信予定

「文部科学省指導講評」「長崎県教育委員会・長崎県教育センター指導助言」「研究授業」「授業研究」「基調提案」等を後日オンラインにて配信する予定にしています。

(上記について期間限定とし、参加費納入の確認後に研究要録とともに動画視聴に関する情報等[URL/ID/パスワード]を配布いたします。許可なく、別の方法等で動画を視聴することは控えてください。)

4 研究主題 「よりよい社会の実現に向け、生活を工夫し創造する資質・能力を育む技術・家庭科教育」

5 主題設定の理由

我が国が目指すべき未来社会の姿であると提唱された「Society5.0」の実現に向け、第5世代移動通信システム（5G）の登場に代表されるように、現在はすさまじい勢いで技術革新が進んでいる。先端技術があらゆる産業や社会生活に取り入れられ、我々の生活様式は大きく変革を迎えることとなる。特に、今を生きる子供たちにとって、未来を予測することは非常に困難であり、少子高齢化やグローバル化などの社会的変化が加速的に増し、先行き不透明な時代である。

このような中、技術・家庭科では、今後の社会の急激な変化に主体的に対応することや、技術の発達を主体的に支え、技術革新を牽引することができる資質・能力の育成が求められている。

そこで、本研究会では、生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、生活や社会の中から課題を見出し解決する力や、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向け、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養うために、研究主題を「よりよい社会の実現に向け、生活を工夫し創造する資質・能力を育む技術・家庭科教育」と設定した。

6 全体指導助言

文部科学省初等中等教育局 視学官 教育課程課 教科調査官 情報教育・外国語教育課 教科調査官
 国立教育政策研究所 教育課程研究センター 研究開発部 教育課程調査官 上野 耕史 様
 文部科学省初等中等教育局 教育課程課 教科調査官
 国立教育政策研究所 教育課程研究センター 研究開発部 教育課程調査官 丸山 早苗 様

7 公開授業・研究発表

【第1分科会（技術分野 A 材料と加工 B 生物育成）】		【第2分科会（家庭分野 B 衣食住）】	
授業者	A 材料と加工の技術 佐世保市立福石中学校 教諭 富田 俊平	授業者	B 衣食住の生活 佐世保市立日野中学校 教諭 池内 尚子
発表者	熊本県 B 生物育成の技術 高森町立高森中学校 教諭 猿渡 裕幸 高森町立高森東学園義務教育学校教諭 石井 佑介	発表者	沖縄県 B 衣食住の生活 豊見城市立伊良波中学校 教諭 高安 真理
	開催県 B 生物育成の技術 平戸市立南部中学校 教諭 山下 翼		開催県 B 衣食住の生活 平戸市立平戸中学校 教諭 松元 幸恵

【第3分科会（技術分野 C エネルギー変換 D 情報）】		【第4分科会(家庭分野 A 家族・家庭 C 消費生活)】	
授業者	D 情報の技術 佐世保市立清水中学校 教諭 嶺石 大成	授業者	A 家族・家庭生活 佐世保市立早岐中学校 教諭 近藤 政子
発表者	鹿児島県 C エネルギー変換の技術 鹿児島大学教育学部附属中学校教諭 森 健太郎	発表者	佐賀県 C 消費生活・環境 鳥栖市立田代中学校 教諭 奥園 智恵子
	開催県 C エネルギー変換の技術 壱岐市立芦辺中学校 教諭 島 一善		開催県 C 消費生活・環境 対馬市立厳原中学校 教諭 長瀬 史佳

研究発表	宮崎県中学校教育研究会技術・家庭科部会（令和元年九州大会開催県） 技術分野研究部長 延岡市立延岡中学校 教諭 武田 基宏
研究発表	大分県中学校教育研究会技術・家庭科部会（令和2年九州大会開催県） 家庭分野研究員 佐伯市立鶴谷中学校 教諭 香川 梢

（公開授業は全て映像による視聴、発表は研究大会要録上での紙上発表）

8 指導助言者

分科会	指導助言者	
第1分科会	長崎県教育庁義務教育課義務教育班	指導主事 野方 健治
第2分科会	長崎県教育センター総務企画部総合企画班	指導主事 濱田 雅子
第3分科会	長崎県教育センター総務企画部情報化推進班	指導主事 阪口 昌雄
第4分科会	長崎県教育庁義務教育課学力向上推進班	指導主事 溝口 春恵

9 全体発表

基調提案	長崎県中学校技術・家庭科教育研究会 技術分野研究部長 佐世保市立祇園中学校 教諭 山中 達也 家庭分野研究部長 佐世保市立広田中学校 教諭 本山 貴美
研究発表	福岡県中学校技術・家庭科教育研究会 研究推進委員長 小郡市立小郡中学校 教諭 松島 光

（基調提案は配信予定、研究発表は研究大会要録掲載による紙面発表）

10 分科会案内

第1分科会		A 材料と加工の技術		第2分科会		B 衣食住の生活	
授業者	富田 俊平	学年	1年	授業者	池内 尚子	学年	1年
題材名	学習環境を整えるための木製品の製作			題材名	持続可能な食生活をめざして		
授業の概要	新型コロナウイルス感染症により生活様式が変わり、家庭で過ごす時間が見直されてきた。そこで、家庭における個人の時間や空間をよりよいものとするため、問題を見いだして課題を設定し、材料と加工の技術によって解決していく。生徒一人一人の課題に合った木製品づくりを目指すために、自由設計とし、特に構想段階においては、生徒は技術の見方・考え方を働かせながら作業が行えるように、4つの観点から自身の構想図を視覚的に評価できるようにした。また、手直しや意見の共有が容易であり、変更点を視覚的に見て取れるような構想図を、タブレット端末のアプリを使用し作成させている。本題材をとおして、試行錯誤しながら、適切かつ誠実に材料と加工の技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を身に付けることができると考える。			授業の概要	佐世保市民の食生活の問題点から課題設定を行う学習を仕組んでおり、佐世保市内の食育推進計画を推進している市の健康づくり課と中学生が、地域の一員として協働する構成としている。これまでの学習で身に付けた日常食の調理・地域の食文化・食品ロス問題の基礎知識などをいかして、地域の食材を生かした調理を工夫する力や、持続可能な食生活のために何ができるかを考え、家族や地域の人々と協力・協働して生活を営むことを目指す生徒を育成したい。		

第3分科会		D 情報の技術		第4分科会		A 家族・家庭生活	
授業者	嶺石 大成	学年	3年	授業者	近藤 政子	学年	2年
題材名	安全・安心な配送システムを開発しよう			題材名	私たちの成長と家族・地域		
授業の概要	第2学年で学習した「エネルギー変換の技術」の学習を基に、生活や社会の中の配送に関する問題を、計測・制御のプログラミングによって解決していく。指導するにあたっては、情報の技術の見方・考えの視点を安全性や社会性として持ち、問題解決の糸口として、生徒に学習をさせる。なお、実社会でも無人配送ロボットの運用実験が行われており、社会からの要求の視点からも、問題発見やその課題解決に意欲をもって望むことが期待できる。そこで、課題を設定する場面、解決策を構想する場面、解決策を具体化する場面、課題の解決結果や解決過程を評価、改善、修正する場面とていねいに学習を進め、情報の技術の見方・考え方を働かせて、問題を見いだして課題を設定し、解決する力を身に付けることができると考える。			授業の概要	家族・家庭や地域との関わりについて、課題をもって、家族の立場や役割、家庭生活と地域との関わりについて理解させる。加速的に高齢化が進んでいる本県の現状を踏まえ、高齢者に焦点を当てながらも、最終的には地域に目を向けさせることを目標とする。既習内容を押さえ、佐世保市の高齢化の現状を知り、高齢者疑似体験を通して高齢者を理解し、高齢者など地域の人々と関わり、協働する方法を考え、工夫することができる生徒を育成したい。		

11 会場案内 佐世保市総合教育センター



佐世保市総合教育センター

長崎県佐世保市保立町12番地31

TEL:0956(76)7331 FAX:0956(76)7334

E-Mail:kyosen@city.sasebo.lg.jp

URL <http://www.city.sasebo.ed.jp/ec-kyosen/>